

# 日本万引防止 システム協会

11月6日・東京都新宿区

認知件数が高止まり



稲本会長

稲本義範会長は、日本万引防止システム協会（JEAAS）が創立22年目を迎えたことに感謝の意を表した。

同会長は「刑法犯認知件

数は2022年、20年連続の減少傾向から増加に転じ、万引き認知件数は13.9%と高止まりが続いています。大量窃盗やセルフレジ悪用などの影響でロス率が悪化に転じている店舗から相談を受ける機会が増えってきました」と述べた。

事業報告では最近の万引き犯罪の傾向として、「高齢者の常習万引き」、「セルフレジ万引きの顕在化」、「組織的万引きによる高額被害事案の増加」などを挙げ、犯罪が複雑化・国際化

・悪質化していることを報告した。

今年度の事業計画として、協会の認知度アップのための広報活動や所轄官庁・ユーザー団体・関係機関との連携強化、会員の知識向上のための研修開催、業界発展のための調査・提案などを挙げ、全て承認された。

新役員は次の通り（敬称略）。【理事】高村徳明（リアルネットワークス）【監事】森川真次（アクシスコミュニケーションズ）

（瀬戸雅彦）